



UEDA SHINKIN BANK DISCLOSURE

# REPORT 2021.09 ~上田信用金庫の近況(半期)報告~

## 経営理念

人とのふれあいを大切にし  
地域の繁栄に貢献する

## 経営方針

1. 顧客とのふれあいを通じ、地域の金融機関として特化浸透を図る。
2. 知性と感性をみがいて、常に自己革新し、行動力の発揮により、多様化する顧客ニーズに対応する。
3. コミュニケーションとチームワークの強化により、打てば響く職場風土を醸成する。
4. 組織に弾力性と柔軟性をもたせ、環境の変化に対応する。
5. 健全経営により、適正な利益を確保し、会員・地域への還元と職員の裕かな生活環境の確立を目指す。

## 当金庫の概要 (2021年9月30日現在)

- 本店所在地 : 上田市材木町一丁目 17 番 12 号
- 創 立 : 1922 年(大正11年) 12 月 2 日
- 会 員 数 : 19,424 名
- 出 資 金 : 7 億 8 百万円
- 預 金 積 金 : 2,896 億 58 百万円
- 貸 出 金 : 1,474 億 55 百万円
- 常勤役職員数 : 235 名
- 店 舗 数 : 23 店舗
- ATMコーナー : 27 カ所  
(店外を含む)



おかげさまで まもなく創立100周年

上田信用金庫

## ごあいさつ

平素より上田信用金庫をご利用、お引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

また、この度の新型コロナウイルス感染症により影響を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、医療機関をはじめ感染拡大防止に向けご尽力されている皆さまに深く敬意を表し、感謝申し上げます。

このたび、当金庫の2021年度上半期の経営内容等をまとめた「上田信用金庫の近況（半期）報告」を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

当金庫は地域経済の活性化や中小企業金融の円滑化のため、創業時からの「地域の繁栄に貢献する」理念のもと、これからも地域の金融機関として、お客さまや地域の課題解決に尽力し、お客さまの幸せづくりと地域社会の発展に貢献してまいりますので、引き続き変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



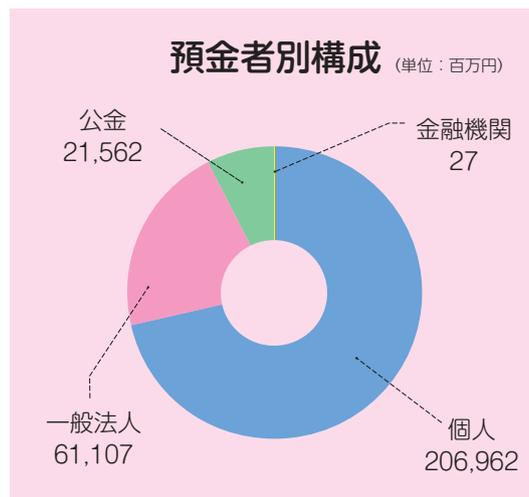
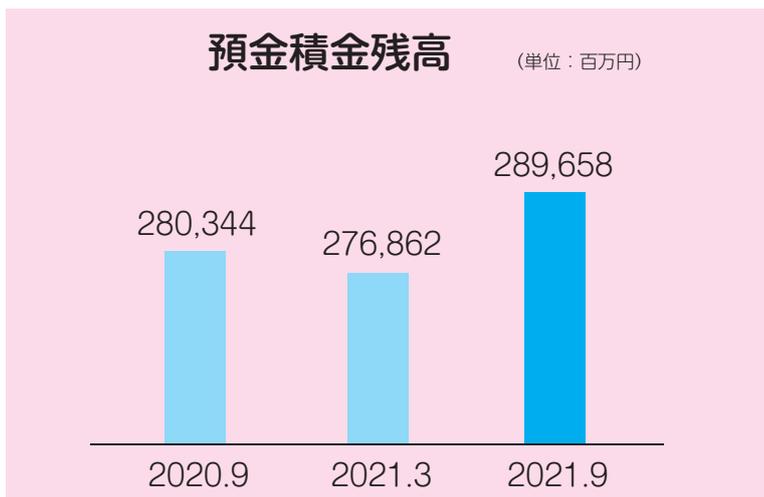
理事長 小田 重明

2021年11月

## 預金積金・貸出金の状況

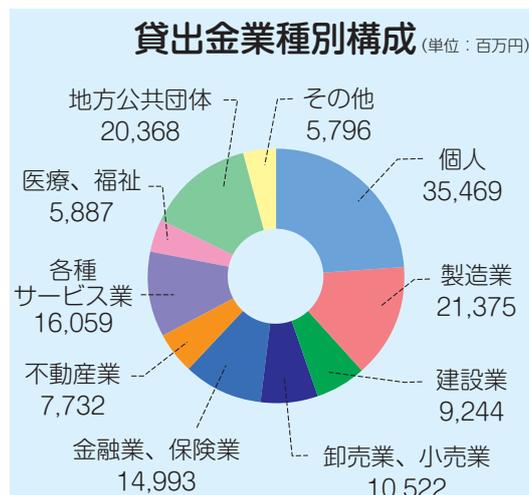
### ■預金積金について

2021年9月末の預金積金残高は、2021年3月末比で127億95百万円増加し、2,896億58百万円となりました。内訳は、個人預金が23億16百万円、公金等預金が116億37百万円それぞれ増加しました。



### ■貸出金について

2021年9月末の貸出金残高は、2021年3月末比で17億5百万円増加し、1,474億55百万円となりました。内訳は、個人が住宅資金を中心に8億16百万円、地方公共団体が13億8百万円それぞれ増加した一方、事業者向けは4億20百万円減少しました。



## 損益の状況

(単位：百万円)

金融機関本来の事業活動のみの利益を示すコア業務純益は、有価証券利息配当金の増加や物件費の減少等により、2020年9月末比で68百万円増加し2億61百万円となりました。

また、国債等債券損益の改善等により、経常利益は2020年9月末比で2億17百万円増加し4億75百万円、当期純利益も1億37百万円増加し3億85百万円となりました。

	2020年9月末	2021年9月末	対前年同期比 増減額
業務純益	206	296	90
実質業務純益	206	319	112
コア業務純益	192	261	68
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く)	147	242	94
経常利益	257	475	217
当期純利益	247	385	137

(注) 1. 各諸表の記載金額は単位未満切捨て表示してあります。

## 自己資本比率の状況

(単位：百万円)

自己資本比率は金融機関の健全性を示す指標で、比率が高いほど経営がより健全であることを示しております。

2021年9月末の自己資本比率は15.38%であり、国内基準の4%を大幅に上回っております。

項 目	2021年3月末	2021年9月末
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	18,187	18,599
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	157	152
自己資本の額 ((イ) - (ロ)) (ハ)	18,029	18,447
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	119,189	119,924
自己資本比率 ((ハ) / (ニ))	15.12%	15.38%

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。  
なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

## 不良債権の状況

金融再生法に基づく不良債権額は、2021年3月末比で45百万円増加し、43億5百万円となりました。不良債権比率は0.02ポイント低下し2.89%となりました。

不良債権とは、回収に懸念のある債権ですが、これらすべてが回収不能ということではありません。適正に評価を実施した担保による保全及び適正な貸倒引当金の計上により十分にカバーされており、その対応には万全を期しております。

### ●金融再生法開示債権及び同債権に対する保全状況

(単位：百万円)

区 分	開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による回収見込額 (c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b) / (a)	引当率 (d) / (a - c)
金融再生法上の不良債権	4,305	3,327	2,061	1,266	77.29%	56.43%
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	464	464	282	182	100.00%	100.00%
危険債権	3,783	2,836	1,753	1,083	74.98%	53.38%
要管理債権	57	25	25	0	45.42%	0.72%
正常債権	144,188					
合 計	148,493					

■破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

■危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

■要管理債権とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

■正常債権とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権をいいます。

# 有価証券の状況

(単位：百万円)

区 分	2021年3月末				2021年9月末				
	時 価	評価損益	うち益	うち損	時 価	評価損益	うち益	うち損	
その他有価証券	株 式	1,537	104	153	48	1,323	145	181	35
	債 券	69,791	579	772	192	71,524	613	716	102
	その他	27,638	409	1,031	622	29,083	506	1,133	627
	小 計	98,967	1,094	1,957	863	101,932	1,265	2,030	765
合 計	98,967	1,094	1,957	863	101,932	1,265	2,030	765	

(注) 1. 評価損益は、2021年9月末時点の帳簿簿額(償却原価法適用後)と市場価格等に基づく時価との差額を計上しております。  
 2. 上記の「その他」は、外国証券、投資信託及びその他の証券です。  
 3. 満期保有目的の有価証券はございません。

## 2021 上半期トピックス

### 法人・事業者向け「プレミアム定期積金」の取扱い

4月1日(木)～11月30日(火)

当金庫プレ創立100周年企画として、事業拡大資金・設備資金・財務強化など、将来必要となる資金を備えるための事業者向け定期積金「プレミアム定期積金」の取扱いを開始しました。



### 献血活動

6月16日(水)

信用金庫の日にちなみ、当金庫役職員32名が献血活動に参加しました。



### 4月 ★交通安全「黄色いハンカチ」の贈呈

地域の新入学児童全員に「交通安全黄色いハンカチ(交通傷害保険付)」を贈呈しました。

### ★ローソン銀行とATM直接提携開始

### ★事業再構築補助金無料セミナー&個別相談会開催

### 6月 ★寄付型地域応援定期預金「笑顔」にかかる寄付を実施

SDGsの取組みの一環及び新型コロナウイルス感染症の対応にあたる医療従事者支援を目的として、5月31日(月)まで寄付型地域応援定期預金「笑顔」を募集し、預入総額(約16億円)に応じた100万円相当を東信地域の感染症指定医療機関(国立病院機構信州上田医療センター、県厚生連佐久総合病院)に寄付しました。

### 9月 ★アフラック「しっかり頼れる介護保険」の販売開始 2021年9月21日(火)～

公的介護保険の補完商品として、要介護1.2に認定された場合に一時金で、重度の介護を必要とする要介護3以上に認定された場合には介護年金で保障する、介護の現状に即した保障設計となっている介護保険の取扱いを開始しました。



当金庫は1922年(大正11年)12月2日に「有限責任上田市信用組合」として設立以来、会員のみなさまをはじめ、地域のみなさまに支えられ、おかげさまで2022年に創立100周年を迎えます。これもひとえにみなさまのご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

これからも地域金融機関として、お客さまや地域の課題解決に尽力し、お客さまの幸せづくりと地域社会の発展に貢献してまいりますので、引き続き変わらぬご愛顧とご支援をお願い申し上げます。